

目次

本報告書の位置づけ

地球観測調査検討ワーキンググループメンバー

地球観測調査検討ワーキンググループ部会メンバー

1. 地球温暖化部会報告	
1-1. 背景	1
1-2. ニーズと現状	2
1-3. 温暖化観測の目標・現状・課題	3
1-4. 今後10年間程度の取り組みの重点事項	15
1-5. 留意事項	18
1-6. 課題分析表	20
2. 地球規模水循環部会報告	
2-1. 背景	27
2-2. ニーズと現状	27
2-3. 今後10年で取り組む方向性と目標	28
2-4. 今後10年間程度の取り組みの重点事項	29
2-5. 留意事項	30
2-6. 課題分析表	32
3. 地球環境部会報告	
3-1. 地球環境観測調査の全体的な意義と課題	41
3-2. 対流圏観測調査	42
3-3. 成層圏観測調査	47
3-4. 海洋汚染（油類及びプラスチック系浮遊物等）観測調査	51
3-5. 海洋汚染（難分解性有機汚染物質等）観測調査	55
3-6. 地球環境観測の将来展開に向けての提言	57
3-7. 課題分析表	59
4. 生態系部会報告	
4-1. 背景	63
4-2. ニーズと現状	63
4-3. 生態系観測の目標・現状・課題	64
4-4. 今後10年間程度の取り組みの重要事項	67
4-5. 留意事項	68
4-6. 課題分析表	69
5. 定常観測部会報告	
5-1. はじめに	83
5-2. 地球観測の二-ズ（科学技術，行政，社会経済等）と優先順位	83
5-3. 地球観測の現状，二-ズとのギャップ，現行の地球観測の問題点	84
5-4. 今後10年間に特に推進すべき地球観測項目	86
5-5. 今後の地球観測システム	87
5-6. 観測課題分析表	88
6. 自然災害・地図作成・資源探査部会報告（自然災害）	
6-1. はじめに	93
6-2. 風水害分野	93
6-3. 地震災害分野	95

6-4.	火山災害分野	97
6-5.	大規模火災分野	99
6-6.	自然災害分野における地球観測のあり方(総論)	102
6-7.	課題分析表	103
7.	自然災害・地図作成・資源探査部会報告(地理情報)	
7-1.	はじめに	109
7-2.	地球観測の目的とニーズ	109
7-3.	観測の現状	109
7-4.	問題点のまとめと重点化の視点	113
7-5.	今後の地球観測項目	115
7-6.	今後の地球観測のあり方	117
7-7.	日本の役割	119
7-8.	課題分析表	120
8.	自然災害・地図作成・資源探査部会報告(エネルギー・資源)	
8-1.	はじめに	127
8-2.	エネルギー・鉱物資源分野	127
8-3.	森林資源分野	129
8-4.	農林資源分野	135
8-5.	海洋生物資源分野	138
8-6.	課題分析表	142
9.	地球科学部会報告	
9-1.	はじめに	149
9-2.	地球システムの理解	149
9-3.	地球科学観測の現状と課題	150
9-4.	地球科学観測の重点課題	159
9-5.	地球観測の推進体制	162
10.	国際対応部会報告	
10-1.	地球観測に関わる国際対応のあり方の検討について	167
10-2.	報告の範囲	167
10-3.	国際的な協力体制の現状とニーズ	167
10-4.	今後の国際対応の基本方針	168
10-5.	国際対応における今後の取り組みの考え方	168
10-6.	おわりに	169
11.	データシステム部会報告	
11-1.	背景	171
11-2.	ニーズと現状	171
11-3.	今後10年で取り組む方向性と目標	171
11-4.	今後10年間程度の取り組みの重点事項	174
11-5.	留意事項	174
11-6.	課題分析表	175